

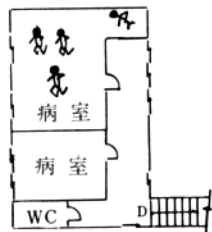
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積 延 面 積)	死 傷 者
佐藤病院 東京都狛江市 和泉1938	病 院 (6)イ	昭和37年1月25日	防火 Ⅲ 木造一部Ⅲ	④・半・部・小	死者 7名 傷者 3名 ()
		出火4時09分ころ 覚知4時13分 覚知別 望楼発見 鎮火5時32分	建 565m ² 延 979m ²	979m ² (100%)	

I 火災概要							
① 概 要	常設消防機関のない、いわゆる「消防行政上のエアポケット」という悪条件下にあった都下狛江市の佐藤病院火災は独立歩行不能な重症患者を木造2階に収容し、かつ夜間宿泊者4名のみという人命安全対策への配慮の不足が大きな原因をなしており、出火原因が放火にあったにしろ、十分な防火管理上の体制が確立されていなかった。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等 消防用設備等
		(本館)			本館と別館は渡り廊下で接続されている		
	2	365	365	病 室	入院患 者33		
	1	423	423	診 察 室 事務室, 病室			
	(別館)				当直者4		屋内階段 1箇所
	2	49	49	病 室	入院患 者19	4	
	1	142	142	病 室		3	
	合計	979	979		56	7	
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 別館1階52号室の押入れと51号室隅便所 老朽木造病棟であるうえ、内装は全て可燃材				④ 出 火 原 因	放 火 入院患者の少年A(18才)が別館 階下52号室の押入れおよび同51号 室東北隅の便所にマッチで新聞紙 を燃やし放火したもの	

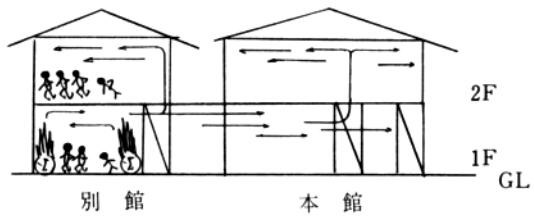
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="text-align: center;"> <p>(出火部位) (出火室の拡大) (他階への拡大)</p> <pre> graph LR A[病室の押入れ便所] --> B[可燃内装] B --> C[階段] B --> D[木造構造材] </pre> </div>	
	<p>病室の押入れと便所へ新聞紙で放火した後は、可燃性の内装に着火し、老朽木造建物だったため、一挙に延焼拡大することとなった。又階段が近くにあったため、早期に火煙が階段伝いに上階へ延焼していった。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> ○ 出火病棟が老朽木造建物であった。 ○ 初期消火が全く行われなかった。 ○ 異状乾燥注意報発令中という悪条件で発生した。 ○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> 廊下天井伝いに、充満して行くとともに、上階へは階段から伝播して行った。 		
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (新築) 昭和18年12月 日 (増築) 昭和 ³¹ / ₃₇ 年 ⁶ / ₁₂ 月 日	
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 特記なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火管理者の資格のない事務長が当たっていた。 ○ 昭和36年4月、防火管理制度が法律で規定されたが、全職員に対しては徹底せずこれらの積極的な教育等も実施されてない。 ○ 訓練等は実施されていなかった。
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政令第25条に基づく避難器具を設置しなければならないが設置していなかった。 	

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (入院患者) ○発見の動機 (煙) ○発見後の行動 (看護婦にブザーで知らせる)</p> <hr/> <p>31号室の入院患者N(23才)が眠れないため、自室で読書をしていると、異状が立ちのぼってくるのを見て火災を察知し連絡、ベルで宿直者の看護婦に知らせた。非常ベルが鳴ったので婦長N(50才)が勤務室から出ると渡り廊下の方に煙が巻くように動いているので近づいてみると別館の2階建病棟階下中央付近が燃えていた。</p>					
② 通報状況	<p>通報 した <input type="checkbox"/> 発見後約()分 しない <input checked="" type="checkbox"/></p> <hr/> <p>入院患者を避難させるべく分担して避難誘導にあたるのに精一杯であり、消防機関への通報ならびに初期消火はなされなかった。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 通報状況の欄と同様の理由で行っていない。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 通報状況の欄と同様の理由で行っていない。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 通報状況の欄と同様の理由で行っていない。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等) 病院側からの適切な情報提供がなされなかったうえ、病院側が患者の避難状況等のは握があいまいであったため救助行動等に相当支障があった。</p>					

	避難方法	避難上支障事項																												
⑤ 避難状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (2 人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 構造が木造であった(老朽)																												
⑥ 死者の状況	<table border="1"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>7名</td> </tr> </table>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	7名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	7名	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>○無窓</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○開口部の格子等</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○非常口(出入口)等の施錠</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○警報設備</td> <td><input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</td> </tr> <tr> <td>○停電</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>危篤状態の患者を含め、独立不可能な重症患者であったうえ、高齢者が多かったことと、老朽木造建物であり、かつ異常乾燥時であったため火の回りが早く、救助の手がさしのべられなかったため避難できず焼死するに至った。</p>	避難上支障となった事項		○無窓	<input type="checkbox"/>	○開口部の格子等	<input type="checkbox"/>	○非常口(出入口)等の施錠	<input type="checkbox"/>	○警報設備	<input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)	○停電	<input type="checkbox"/>	○その他	<input checked="" type="checkbox"/>
健康人	名																													
(泥酔者)	名																													
要保護者	7名																													
乳幼児	名																													
高齢者	名																													
身体不自由者	名																													
病人	7名																													
避難上支障となった事項																														
○無窓	<input type="checkbox"/>																													
○開口部の格子等	<input type="checkbox"/>																													
○非常口(出入口)等の施錠	<input type="checkbox"/>																													
○警報設備	<input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)																													
○停電	<input type="checkbox"/>																													
○その他	<input checked="" type="checkbox"/>																													
IV 問題点・教訓等																														
<ol style="list-style-type: none"> 常備消防機関がなく、従って査察等も行われておらず、消防行政上の面が悪条件下にあり、消防組織法に基づく公設消防機関設置などの措置が急務とされた。 危篤状態の患者も加えて独立歩行不可能な患者多数を木造2階の病床に収容していた。 前2の関連として当然考慮しなければならない消防設備等の設置がなく、また各種防災対策が皆無の状態であった。 以上1～3に関して防火対象物の関係者として立法、行政以前の道義的問題が問われる。 																														



別館 2階



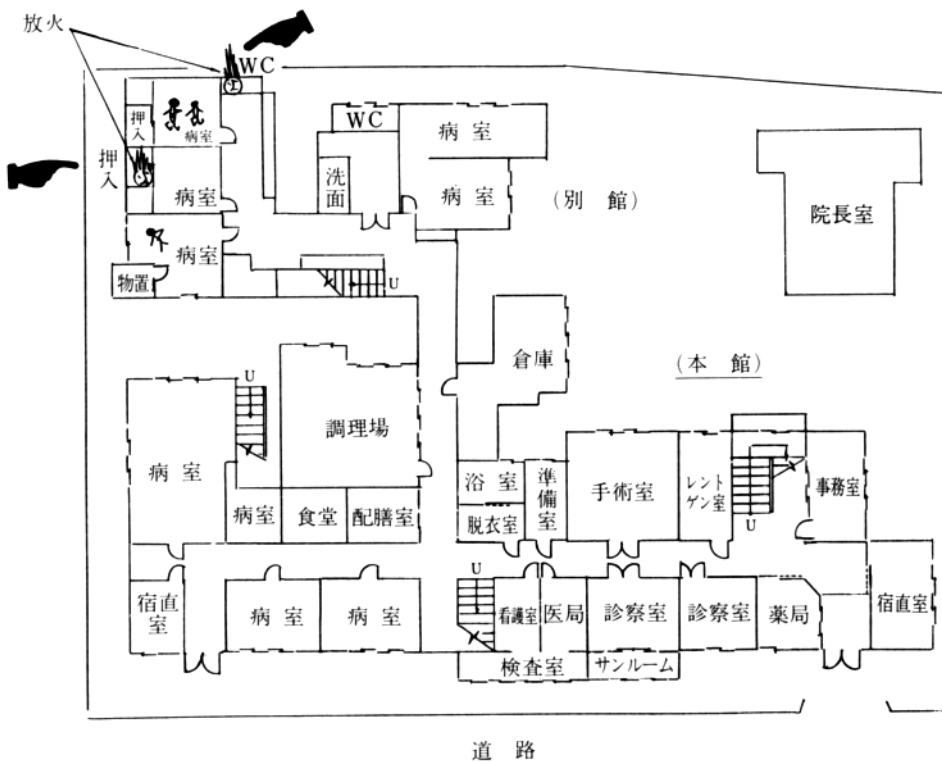
別館

本館

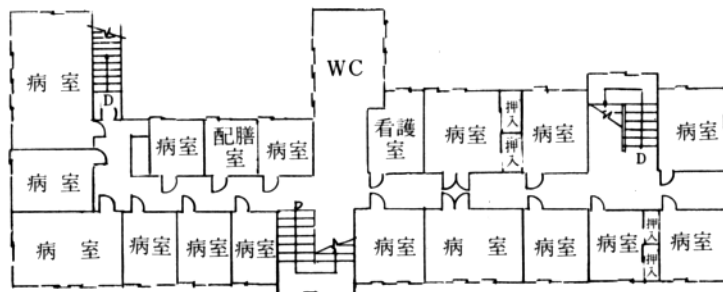
2F

1F

GL



道路



2 階(本館)